

# MICKO PLAVI Accordion

## ミシュコ・プラヴィ アコーディオン・ソロ・ライブ



**ライブスタイル**で下記の曲目から当日の雰囲気演奏

ガリアノ:クロードのためのタンゴ 日本民謡:さくら

グラナドス:スペイン舞曲 ブラームス:ロマンス

ピアソラ:リベルタンゴ/オブリビオン

プラヴィ:フィエスティーナ ロータ:アマルコルド

ポチェリ:コンテパルティロ ほか

バルカン地方の民謡や自作曲など…

ミシュコ・プラヴィは、セルビア(旧ユーゴスラビア時代)在住のマルチプレイヤー、アコーディオン・パフォーマーである。80年代、彼はバンド活動を始め、セルビアでプラチナレコード1枚、ゴールドレコード2枚、シルバーレコード2枚を獲得するなど、誰もが知っている国民的音楽家だった。バンド解散後には、作曲家(フランス作曲家協会/セルビア作曲家協会会員)として、また映画音楽コンポーザーとしてジャン・マルク・パール監督やスルタン・コルジェビッチ監督作品のサウンドトラックを手掛けるなど、映画業界からも評価が高く、90年代以降はアコースティックサウンドが好きという理由から、アコーディオンを手にしプレイヤーではなく即興性の高いパフォーマーとしての道を進んでいる。現在は、セルビアを中心に東ヨーロッパ各地でソロやトリオのライブ活動を続けながら、2009年9月に日本でもCDを発売し、多くのメディアから取材を受けている。更に、毎年7月にセルビアで開催されているヨーロッパ最大級(動員数約20万人)野外フェスティバル「EXIT FESTIVAL」やジャズの祭典「NISVILLE JAZZ FESTIVAL」からもオファーがくるほど、彼は再びセルビアで注目を浴びている。

### 観客の声 (過去の来日ツアーのアンケートより)

- アコーディオンの単独の演奏という珍しい音楽が楽しめてよかった。音量も思った以上にあって力強かった。右と左の指がばらばらで目が釘付けになった。(46歳女性)
- 鳥肌たちました。エキゾチックな独特の演奏に胸が熱くなりました。感動しました。(30歳女性)
- すごくお客さんのことをよく見る方だなあと感じました。彼の持つ世界やバックグラウンドをもっと共有できたら良いと思います。少年のような空気の人。「聞いて〜」っていうのがすごく伝わってきます。(21歳男性)
- アコーディオンというと小学生のときのイメージしか無かったのですが、こんなにパワフルでエキサイティングなものと改めて知り、魅力的なものだと知りました。もっと広く知られる様になったらよいなあ〜と思います。このような機会を作っていただけてうれしいです。(女性)

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

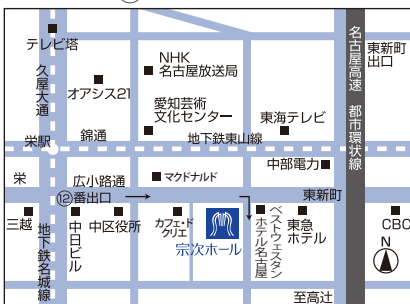
**宗次フレンズ 会員募集中!!**

宗次ホールは  
会員登録していただいた方に毎月無料で  
新作チラシをご自宅にお届けします。

**会員登録・年会費 無料**

詳しくは、宗次ホール(052-265-1715)までお問合せ下さい。

■交通アクセス  
地下鉄栄駅(12)番出口より東へ徒歩4分



  
**宗次ホール**  
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008  
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716  
E-mail info@munetsuguhall.com  
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター

営業時間:10:00~18:00  
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)